

## 令和元年度IEA水力実施協定国内報告会 開催報告

### (1) 開催期間

令和2年1月23日（木）

### (2) 開催場所

グランパークカンファレンス（田町/東京）

### (3) 開催概要

本会議は、毎年開催されているIEA水力実施協定の活動報告会である。

### (4) プログラム

- 14:00 開会挨拶 (一財) 新エネルギー財団 業務執行理事 鳥谷 宗治
- 14:10 基調講演「未利用の水力、さまざまな可能性を考える」  
茨城大学 農学部 地域総合農学科 教授 小林 久
- 14:50 IEA水力実施協定の活動概要  
IEA水力実施協定 執行委員会正委員  
(一財) 電力中央研究所 名誉研究アドバイザー 宮永 洋一
- 15:10 Annex-9フェーズ2「水力発電の多様な価値」  
IEA水力実施協定 Annex-9専門部会委員  
関西電力(株) 水力事業本部  
開発グループマネジャー 太田 耕一
- 15:40～15:50 (休憩)
- 15:50 Annex-15「水力発電設備の保守と増強に関する意思決定」  
IEA水力実施協定 Annex-15専門部会OA  
電源開発(株) 土木建築部 水力開発室  
室長補佐 岡本 二郎
- 16:20 Annex-16「Hidden Hydro Opportunities」  
IEA水力実施協定 執行委員会正委員  
(一財) 電力中央研究所 名誉研究アドバイザー 宮永 洋一
- 16:50 IEA水力実施協定の関連情報（日本が参加していないAnnex活動情報等）  
(一社) 海外電力調査会 電力協力部長 村重 宏

参加者数：44名（事務局、IEA水力実施協定海外メンバー含）

＜参加者所属分類＞ 官庁：1名

電力関係（事務局、電中研含）：28名

公営電気（経営者会議、各企業局）：4名

大学（講演者含む）：2名

発電メーカー：4名

水力関連コンサル：4名

事業者（研究者含）：1名

#### 質疑等

・Annex-9フェーズ2「水力発電の多様な価値」活動報告

Q1 ポルトガルの需給カーブが夕方(20時頃)にピークに達しているのは何故か。

A1 今回発表に使用した需給カーブは2020年1月5日(日)のものである。ポルトガルでは各家庭に暖房システムが設置されており、冬場は家主が家に帰ってくる時間にシステムがオンになり電力需要が増加する。また、使用したデータが休日であったことから、日中と夜間の需要の差が顕著に現れている。

No.	報告資料一覧
1	基調講演 未利用の水力 ～さまざまな可能性を考える～
2	IEA水力実施協定の活動概要
3	Annex-9「水力発電の多様な価値 フェーズ2」活動報告
4	Annex-9専門部会プレゼン資料（ポルトinポルトガル、2019年10月）
5	Hydro2019セッションの概要（Annex-9関連）
6	Annex-15「水力発電設備の保守業務と増強に関する意思決定」活動報告
7	Annex-16 Hidden Hydro Opportunities 活動報告
8	その他のAnnexについて

#### 【報告会状況】

